

第 25 回 長野市都市内分権審議会 議事録

日時 平成 25 年 2 月 4 日 (月)

午後 2 時から

場所 市役所第一庁舎 3 階 会議室 1

議事

(1)平成 23 年度住民自治協議会の活動・決算等に関する総括について

質問 事務局の充実ということで、それぞれの住自協で事務局長をおいているわけですが、前回の第 24 回都市内分権審議会においても話がありましたが、現在ほとんどの地区で雇用しているようでございます。事務局長の任務があまり過重になってはならないと思いますが、住自協にとっては大変大切な事務を担っていただいているので任務は重いと思います。都市内分権課では事務局長との連絡会、あるいは研修会等の開催についてのお考えがあるのでしょうか。お聞かせいただきたい。

回答 事務局長の研修については既に二回ほど実施しております。やはりお一人でやっていただくなかで質問等などもありますでしょうから、情報交換会を開催しております。

質問 現在私は浅川の住自協を担当しています。住自協の組織体制について、従来からの組織をどうまとめて運営していくかなんですが、スタートからまだ 3 年目でございますが、非常に難しい部分はあるかと思えます。現在当地区では 7 部会ありますが、企画調整委員会という組織では一年間かけてやりながら再編等を検討する時期かなと思えます。いきなりスタートして変えていくのは難しいです。実施しながら変えていくほうが実情かと思えます。

回答 従来の組織を存続させたというのは全体の三分の二ぐらいあります。これは変えたほうがいいのか変えないほうがいいのかという意味ではなく、やりながら必要であれば変えていただき、また見直しなどを数年に一度はしていただくことはとてもいいことだと思います。

質問 高齢化の進行について、組織や事業の見直しを通じて負担の軽減が必要とのことですが、実際には住自協全体の問題もあるが、中山間地域に限らず、特に高齢化が進んでいる地域には特別な手立てが必要ではないかと思えます。そのへん住民自治協議会では具体的な問題としては挙がってくることはないでしょうか。例えば役員の成り手がいないとか、民生委員や区長が決められないという地域は少なからずあると思えます。中山間地では活動支援員のような形で要請もあるのではないのでしょうか。中山間地域はもちろんのこと都市部であっても高齢化は深刻になっていると思えます。そのようなことについてはどのような対応になっているのでしょうか。

回答 やはりおっしゃる通り中山間地に限らず、市内平坦地においても高齢化が著しい所が部分的にございます。もちろん各区長はじめ、各役員の成り手については既に予測が

ついておりまして、基本的には住民自治協議会では各区からの選出いただいている役員の皆さまが基本的には活動の構成員となります。例えば、区の再編などを進めるといった所も一部見受けられます。併せて役員を出しにくい、絶対数を減らしていくということで、例えば部会の数を減らすなど部会組織を見直し、役員を若干減らすということもやっている区も確かにございます。ただ全体的に出にくいからといって、自治協の組織、活動自体が縮小してしまうというジレンマが発生する恐れがございますので、私どもは訪問しながらそういったご意見を伺っております。基本的に都市内分権を始めるときに、地区の実情に合った形で活動が無理をして継続するものなのか、必要に応じて発生してくるものなのか二つの面がございます。また、こういったものを丁寧にご相談に応じながらやっていきたいと思っております。中山間地のように一人を付けるとはなかなかいきませんので、支所長や支所の職員が支えてくるような形になってくると思っております。いずれにしろ協議してまいりたいと考えております。

**質問** 3ページの住自協の円滑な事務移行について、23年度から25年度までにと設けていますが、私は市の支所の職員としての立場としては住自協との関係にある役割や損得などの関係ではなく、お互いを応援し合うという観点が必要ではないかと前々から思っています。そういった意味で市の職員が持っているノウハウは必要なときにはしっかりと応援できるというような立場の中で残していただきたいと思っております。住自協の中で必須・選択事務にし、市の職員が自分の仕事を排除するといったことも若干見えなくもない。そういった意味で力がつくまでなのか100パーセントになればいいのか、それともこのくらいは余裕の範囲で残しておきたいと許容の範囲で残していただけると嬉しいなと思っております。

**回答** ご要望は当然として、役所の業務を住自協の皆さんにやっていただくことが最終目的ではもちろんございません。やはり共々にまちづくりを考えていくと、その時に支所はマネジメントをしていく、一緒になって考えていくものです。もし、そういった動きでないのだとすれば、いろいろと教えていただければと思っておりますし、私も支所長はじめ支所の職員にきっちりとその役割は伝えていきたいと思っております。

**質問** 個別の事務手順フロー、役割分担というものは資料を作って配布されているものですか。当初同じようなフローというものをお作りになりましたよね。改定して作ったものと理解していいのでしょうか。

**回答** こういった表を作りまして、それぞれの事務に応じまして、本庁、真ん中が支所、そして住民自治協議会と一つの事務を完結するまでにどういうフローで最後までいくのか作ってお示しました。住自協の皆さんがこの部分を一生懸命やっていただく、支所はここを一生懸命やっていくと、トータルで事務が完結するようにお作りしてお渡ししております。

**質問** 9ページでご説明いただきました活動別決算状況について地区別平均グラフの中で気づいたのですが、健康・福祉関係が36.5パーセントで最も多くなっているのです

が、合併前から社会福祉協議会があったりしている自治協では、その部分が当然ですが非常に多くなっています。地区に住民自治協議会ができてそこに入っていない社協もあると聞いていますが、その割合はどんなふうになっていますか。

**回答** 今のご指摘の地区社協が今現在どのくらい別になっているかということですが、基本的にはだいたい10を数えるところまではいっていないと思います。詳細また後ほど報告しますが、特に豊野地区などの合併地区が大きいです。当時、町社協、村社協というものがございまして、そこで一生懸命福祉を担っていただいた経緯がございまして、そういったところがまだ残っています。その他では住民自治協議会の福祉部会の一組織として入っているという包含された所が大部分でございまして。

**質問** 住民自治協議会に社協が入ったことで地区社協などからの活動が、非常に会計面などが厳しくなってきたり活動しにくいという住民の声があるのですが、社協というものは私ども豊野地区では多額の寄付をして、会費を出して自主財源でやっています。それを一緒にされて住民自治協議会は税金を使ってやっているんだからと厳しくなったという声も聞かれます。それについてお聞かせいただきたい。

**回答** 只今のご質問ですが、やはり地区社協といえども部会の一つでございまして。先ほど申し上げたように公金でございまして、その用途については明確に、住民はもとより市民に報告していただくことが必要になっています。従いまして以前のようにもう少し自由に使えたと言われていたご意見でございまして、それがいい、いけないではなく、やはり説明できる形であれば、今後また使っていただき住自協としても予算措置をせずでございまして。それはまた双方で協議していただきながらお願いできればと思います。

**質問** 今の地区社協についてお聞きしますが、資料1の2ページ(4)の住自協だよりの発行回数を増やし内容の充実を努めるとあるが、そのなかで地区社協だよりの統合を図った地区もあると、その流れが加速していくと表記されていますが、地区社協の位置付け、また地区社協だよりのような形で住自協のなかで一つの関わりとして実現しなければならないと思います。また社協だよりと住自協だよりのように統合されていくのか。また流れを進めていこうとするのか、またあるいはその流れは地区の独自性を考慮しながら地区の判断で考えていくとおっしゃるのだが、この文章ですと、統合していく流れが加速していくことを是認しているように伺えるのですが。

**回答** 委員さんの言われた後者でございまして。地域のそれぞれの実情に応じた運用の仕方があって、そちらの方をしっかりと支えていくという事です。この文面でもしかして私どもが、そちらの方がいいと受け止められてしまうのであったら、言い回し変えなければならぬと思っています。

**意見** 地域のことは地域が大前提でありますし、地区社協のあり方そのものです。独自財源を生かしながら活動して、今までの地域の福祉活動を盛り上げていく、そのために地区社協だよりのあるのですね。住自協だよりの別にも別にきちっと出していき、とにかくそ

のへんはしっかりと伝わるように出していく、そのようにしていただきたいし、これからの地区社協が独自の活動によって地区全体が底上げされるので、その活動については尊重していただきたいと思います。

## (2) 地域やる気支援補助金について

### (3) 住民活動フォーラム 2012 について

#### (2) と (3) を一括説明)

**質問** やる気支援補助金についてとてもいい企画だとは思いますが、32 住民自治組織がやはり同じレベルで発展していったほしいという思いのなかで、交付制限年数が撤廃されたことにより、やる気が一層強いところが毎年毎年更新されていく。それはとても大事なことだと思いますが、なかなかここに挑戦できない組織が出てくるような場合が懸念されるのですが、そのへんは支所長や都市内分権課の方で目を配っていただいて、全体としてレベルアップしていけるような伝授もされていくのかそのへんはいかがでしょうか。

**回答** 今現在来年度も含めまして 32 地区中 31 地区がエントリーしています。1 地区だけそこに至っていないということもございまして、支援担当も含めて支援させていただく方向でやらせていただきます。全体を通してですが、3 年ルールを撤廃したことによりまして、もう少し増えるかなという思いもありましたが、地域独自のやる気、お金がかかるものではないものの事業展開もあったりして、この結果になりました。いずれも 2 月中に、順位付けはしますが、3 月議会の予算が可決になったうえで、4 月の時点で決定していく段階を踏みますのでご了承いただきたいと思います。全地区で差異が生じないように、支所長等の支援も含めて対応してまいります。

**質問** 各地域で活発に活動することはとてもいいのですが、住民自治協議会が発足したことにより、隣接する地域の繋がりが薄くなってしまわないでしょうか。例えばフォーラムでいろいろな地域の発表があり、どんな活動をしているのかは分かるのですが、隣の地域に参加したいとか、その地域のことをやってみたいとかそういう人もいると思うが、あまりにも個々の住民自治協議会に固まっていて、予算の関係もあり参加できないということもあるでしょうが、同じ長野市民という観点からももう少し横の繋がりがあってもいいのかなと感じます。いかがでしょうか。

**回答** 住民自治協議会は 32 地区を母体として動いていますので、やる気補助金についてはこの方向になっていますが、まちづくり活動支援補助金という 800 万で市民公益活動団体の皆さんを支援する補助制度を設けております。そんなことも含め、双方で一生懸命頑張ってください、幅広くいろいろな地域の皆さんとやる時には、それはそれで次の段階になっていくかと思いますが、志を同じくするもの同士が地区を越えてやる時には、そういった支援の補助もございまして、そちらもご案内していきたいです。

**質問** 住民活動フォーラムについて、今年度は日曜日で開催されたということで、関心の

ある方も参加するに都合よかったと思うのですが、その中で参加された方々の感想などの声があればいくつかお聞かせいただけないでしょうか。

**回答** 参加された方からのご意見ではないのですが、今まで平日開催をしていましたが、今回日曜日の開催ということで私どもも来場者を期待していたのですが、逆に平日の方が多かったのではないかと思います。理由は何点かあるとは思いますが、「日曜日に各住民自治協議会が地元でイベントを行っているということが多かった。結果として地元でイベントを開催していてこちらに参加できなかった。」そういったこともございました。また今回講演会とタイアップさせていただきまして、著名人の方を招いての講演会だったのですが、そこにも若干期待はしておりましたが、それもあまりお客さんが伸びなかったということもございまして、300名の収容予定が200名となりました。今後こういった反省点も生かしながら検討させていただきたいなと思います。

**質問** 昨年度と比べてはどうでしょうか。

**回答** ここ3年間開催した場所が異なり、最初の年は市民会館、翌年は若里市民文化ホール、そして今年度は生涯学習センターということでした。ということで転々としていることでなかなか比較にならないのですが、昨年度は200名ほど、初年度が600名ほどということでした。

**質問** 住自協ができて2年、3年目でいろいろと出てくるわけですが、市民が自らのことを自ら決めることが、民主主義を目指すことだと思う。それには権限と財源がなくてはならない。そのへんまで配慮をしてもらわなくては、どうしても市行政からの押し付けになっているのではと思う。まだまだ課題はあると思う。例えばやる気支援は課題の解決を目指してるのですが、内容は催し物になってるようにも見受けられる。市民が皆住民自治協ができてよかったなあという感じがまだ出てきていないのではないかと思います。いかがでしょうか。

**回答** 私ども住民自治協議会のそれぞれの、自立がしっかりしてくることにより、地域に根ざした地域の皆さまに納得できるような運営がなされてきていると感じています。それらも含めて今回アンケートを実施させていただきました。この観点がいいのか悪いのかも含めてご指導いただき、またアンケート結果も含めてご案内させていただきたいと思えます。

**質問** やる気支援補助金私も22年度23年度2年続けていただきました。各地域においては新しい事業ということでいろいろやられていて、支援していただきたい。もう一つは地域振興として100万という枠を超えていただきたい。このぐらいの支援がないと住民自治の本当にやろうと思ったことはできないと思っています。要望ではありますがご検討いただければ嬉しいなと思います。住民活動フォーラムについては私のところには一週間ぐらい前に通知がきて、予定が既に入っていて行きたかったが行けなかったので、せめて一ヶ月ぐらい前に通知をいただければ段取りができたかもしれない。地域の人にも聞いてほしいと思っていますので、ご配慮をお願いします。

**回答** 地域振興のお話をいただきましたが、ここで 500 万、1000 万上乗せしたことにより、それだけその分やりくりし、地域振興につながるかというそれはまた別と思っています。それらを含めて、本当に地域でやりたい活動に対して、生み出すということも必要だということも含めて、よく市長が儲けるという言い方をしますが、儲けるまではいかないとしても、法人化などがまた新たな動きになってくかと思えます。そういった意味合いを含めて資金の調達がなされるような支援が、今後また新たな支援となっていくんだろうなと思えます。その辺りもご相談させていただきながら対応してまいりたいと思えます。

住民活動フォーラムの通知については、審議会委員の皆さまには通知が遅れましたこと、完全な私のミスですので申し訳ございませんでした。住民自治協議会の皆さまにおいては、連絡会でご案内申し上げておまして、その都度ご報告申し上げた次第でございます。

**意見** やはり住民自治となりますと、やる気支援金の問題もそうですが、支所機能の充実ということも合わせて考えないと、住民の皆さんだけの問題ではなくやはり長野市全体の行政の在り方、都市内分権をどのように捕らえるのか、最初のご説明でも本来市でやるものを押し付けではないというのは、そのとおりでございます。そういう形でいろいろとご苦労されているのは分かります。やはり同時に支所機能の問題についてもしっかりと充実させていくという方向で、住民と市がしっかりと連携し地域の活動がしっかりとできていくと思えます。

#### (4) 住民自治協議会事務局長勤務実績（平成 24 年度 12 月現在）について

**質問** 事務局長手当てですが、46 ページの 2 の課題（2）について、やはりそれぞれ勤務実態として、篠ノ井でいいますと月給制ということで、月 168 時間の勤務実態のなかで、上限の 120 万ではやはり無理があるのではないかと思う。地区によって業務の差はあると思うのですが、事務局経費と同じように世帯数による加算ですとか、またやはり事務局長というからには常勤での金額設定でいくべきではないかと思えますがいかがでしょうか。

**回答** 篠ノ井はそういう状況になっております。今年と来年の事務局長の実績と役割を含めて検証をかけ、26 年度の予算に生かしていきたいと思えます。それらを含めて検討してまいりたいと思えます。

**質問** 勤務実態についての調査していることは以前から伺っていましたが、現在までに調査したなかで、その実態が明らかになっているのに対して 26 年度までに引き伸ばしするのはいかがかと思えます。現在の状況を前提に前倒しでの多少なりとの対処をするお考えはないのでしょうか。

**回答** 当初どおり 24 年度と 25 年度を試行したいと思っています。

**意見** 今の話に関連して 24 年度から事務局長の雇用手当てをいただけることになったこ

とは非常に感謝している。勤務実態の 43、44 の勤務時間数の欄を見ますと、実態の数字のなかで 104 時間、局長自ら出した資料だと思うので、他の役員は無報酬の中、自分だけ報酬をいただいている、時間を予算以上になかなか書けないということもあるようで、篠ノ井地区のようにプラスアルファを賄っている財力がある地区ばかりではないので、24 年度と 25 年度の数字を見てからと言っていますが、こんな実態もありますので、前向きに考えていただきたいと思います。

**質問** 資料 41 ページの事務局長設置の経緯について、住民自治協議会の会長と事務局の設置、ポストは住民自治協議会を運営していくうえで、重要で必要不可欠というような大合唱を揚げて設置したにも関わらず、第一、第二、第五、大豆島の住自協としては大きい地区だと思うが、未だに事務局長が設置されていない。その理由をお聞きしたいのが一つ。他の地区については、事務局長ありきという考えで、急遽事務局長を設置したということなのか。事務局としてはつかんでいるのか実態をお聞きしたい。それから事務局長あるいは事務局職員の情報連絡会が 2 度開催されたということですが、もっと研修会等を開催して事務局長等の役割等について周知・徹底していったほうがいいのではないかと思う。事務局長のマニュアル等は作成してあるのかないのかも伺いたい。

**回答** 32 地区中 28 地区まで雇用になりました。あとの 4 地区のうち 2 地区につきましてこの 4 月からは雇用する方向で動いています。それぞれ地域課題がございまして、人選が進められなかったという事情もございまして、それらを含めて全地区で雇用ができるように支援していきたいと思っております。なかでも第 1 地区から第 5 地区につきましては、ご存知のように合同事務所になっております。横の繋がりを持ちながら動いているという意味で、事務局員体制のなかでやってこれた実態があります。しかし、やはり事務局長の役割は違うということも含め、雇用に向けて支援していきたいと思っております。事務局長の横の繋がりですが、いろいろと感じている課題解決も大事ですが、横のネットワークという部分で、そこで知り合った皆さんと個別に連絡を取り合いながらやっておいでです。32 地区の皆さんがそれぞれの地域課題は規模も違うなかで、ご自分たちで横の繋がりが必要だと思うところでは、それぞれの必要に応じた横のネットワークはできていると聞いております。マニュアルについては、地域によってそれぞれの違う課題に向き合っていることですので、そういった意味でのマニュアルはございません。

**意見** 事務局長の費用をとっていただいたことは、地域にとっても非常にありがたく思っております。私も地域では教育文化部長という立場でやらせていただいておりますが、いろいろな面で相談事項も出てまいりますし、事務局長をつけていただいたことは非常にありがたく思っております。朝陽地区には、二人おり、一人は区長会の事務も担当してもらってます。次長という形にはなっておりますが、勤務は、半日交代でやっています。また農家をやっている世帯も多いので、二人でのローテーションが都合がよくスムーズにいけるという事情がございまして。また朝陽地区ならではですが、水害や河川の関

係の連絡調整も担っている。また、事務局長をおくことにより、支所との関係も非常にスムーズにしている感じがします。

#### (5) 平成 24 年度まちづくりアンケート結果【速報版】について

**質問** 毎回お願いをしていることですが、住民自治協議会が発足し、2年経過し、それぞれ地域の皆さんが汗を流して取り組んでいただき、市も組織作りとして職員も支援していただいているわけですが、今後住民自治協議会が地域で更に安定的に活動をしていくためには何が必要かという中で、先ほどお金などいろいろと議論が出ましたが、一つは支所の皆さんの理解、特に支所長が住民自治協議会や地域の振興ということについてどうお考えになり、どう労を出すかがひとつの大きな要素になってくると思います。最初から住民自治協議会をつくり、地域の皆さんが主体で地域のことをやっていただくから、支所は疎遠になるような雰囲気がありました。今は事務局長をおいて、市のほうからよくお話していただいているので、そのようなことはないと思いますが、今後に向けて、支所長が住民自治協議会の最終責任者であるという自覚を持ってもらいたい。地域振興のことは市長の代理ですから、支所長を中心に地域の活動に対して、積極的に飛び込んでいただくように部長さんから特に重ねてお願いをしたいと思います。現場は支所ですから、やりにくいことはあってはならないと思います。地域のことを気持よくできる体制づくりをお願いしたいと思います。

**回答** 委員さんからいろいろなご指導があったのですが、私としても支所長はじめ職員は、地域振興をマネジメントするように伝えているつもりです。皆さんの満足がいく動きがなされていないとなりますと、またしっかりと伝えながら、それは支所長だけではなく地域の皆さんと一緒に協働で進めていくことですので、この辺も話をしながら、地域の皆さんの思いが叶うように指導をしていきたいと思います。今後とも委員さんの私どもへのご指導の程宜しくお願いします。

**意見** アンケートに関して今日ご報告いただいた内容について、住民自治協議会が本格稼働から3年目で、こういった市民の意識を聞いていただいたことは、住民自治協議会の今後の活動を考えたうえで大変有意義なことであったと思いますので、3月末には詳細な結果が出るということですので、そちらの地区別の分析結果などを生かしていただけたいと思います。速報ベースで問いの13でよくわからないという方が約40%、あるいはスタッフとして関わったことはないが活動はあるという方が14%、活動に参加したことがない方が30%との状況で、この数字は多いのか少ないのかというのは見る方によって様々なご意見があるかと思いますが、私としては決して多い数字ではないかなと思います。かといってそんなに悲観する数字でもないのかなという感じも思っております。確かにもう少しよく理解し、参加したことがある数字が多いほうがよろしいとは思いますが、今後のより一層の活動によってまた生かさせていただければと思います。また、同種のアンケートを他の県外も含めて自治体で住民組織に関する市民アンケートをやっ



ていらっしゃるケースもあると思いますので、そういった自治体のアンケート結果と比較することによって、長野市の現状、住自協の市民への訴えを、これがもし他の数字が高ければ、先進的なよくできている状況を把握しながらよりよい改善へ繋げていただければと思います。

**意見** 住民自治ということは難しいことですが、「民主主義の三原則」とよく言われますが、公民館活動のなかで一番要求されたことは、基本的人権の尊重、生涯学習の充実、住民自治能力の向上という3つのことでした。この3つのうちで中心となるのは、住民の自治能力の向上だと言われています。基本的人権の尊重については非常に徹底してきたと思いますし、生涯学習の一環としての社会教育の充実も図られてきましたが、一番中心となる住民の自治能力の向上については、身近にそれほど感じなかったし、今までほとんど発揮する場もなかったのが現状でした。しかし時代が動くなかで、自分たちの地域のことは、自分たちでやらなければならないという基本的なことが、実際にやってみると、なかなかうまくいかないのが現状だと思います。しかし、考えてみるとまだ発足して3年です。私はこの都市内分権構想の準備段階から多少関わってきましたが、歩みは非常に遅い感じはしますが、着実に進んでいると思います。例えば「地域やる気支援補助金制度」が22年度からできましたが、これへの住自協からの応募の様子などをみますと、自分たちで何かをやるという意識が濃厚に出てきています。しかし、どのようにやったら良いかという部分についてはまだ未熟ですが、この制度もずっと継続することで、更なる前進となるのではないかと思います。今回のアンケート結果についても、まだまだ悲観的な部分もありますが、これは進歩するときのひとつの段階なのではないかと考えます。更に勇気を持って進めていってほしいと思います。

**質問** 全体を含めてアンケート結果については、市民に公表するかと思います。考察については、どこにポイントを置くのか、数字の取り方については様々なご意見があると思いますが、これは所管課は都市内分権課と思いますが、このまま市民に公表されるということでしょうか。

**回答** 先ほどご説明させていただいたように、まちづくりアンケート全体の取りまとめは3月下旬になっております。そちらにつきましては、地域別年代別様々な角度から出ます。それは全部発表になるものです。こちらにつきましては、今日の審議会の資料として出て行きます。

**質問** 考察という部分はこの都市内分権審議会だけであって、外には出て行かないものなのか。住民自治協議会の認知度、これは市民の皆さんに何う大変重要な部分だと思いますし、そのなかで、どこからも情報を得ていないという数字、あるいは先ほど考察のなかで地域福祉についてのご説明がございました。地域福祉協議会という独自の活動がある。それから成人式、文化祭、ウォーキングといった部分も含まれていますが、これはいわゆる公民館活動、地域公民館に係る現状のなかでの役割となっております。これを突き詰めていくと指定管理制度ということも含まれているのかなという気がしますし、

問 16 の考察についても 4 分の 3 が肯定的というふうに、こういう形でとらえていいのか、文書化にしていくのは果たして適切なのか。これは広報広聴課の皆さんがどうとるか、あるいは第三者評価など、どんな形で考察というものがこのアンケート結果から表されていくのか、それを推進する所管課としてどう客観性をもつのかという思いです。

**回答** こちらは審議会の資料としてお出ししたので、審議会の資料として出て行きます。しかし、今のようなご意見が出たということは議事録でお出し出来ますので、あくまで私共の審議会の資料のなかの考察だという受け止め方をさせていただければと思います。

**質問** 速報なので問いが 4 つぐらい提示されていますが、ストレートな質問・設問があるか確認したいのですが。例えば、「住民自治協議会を知っているか。あるいは必要だと思いますか。」というストレートな質問があるのかどうか。というのは、住民自治協議会が長野市民に既にあるのを前提での質問のように受け止められるのですが、中には全く知らない人もいます。ゼロからの質問が含まれているかどうかを確認します。

**意見** 私が伺っている限りでは、これが全てと聞いています。おそらく主旨としてこれで十分なアンケートなのかではないかと推察いたしますが、ご希望に沿うようにするには別個にするほかない。市政全体に関するアンケートの中で入れてもらったわけなんです。設問数とすればこのぐらいが精一杯なのだろうと思います。また別個にアンケートする余地があるかどうかは改めて検討していただくしかないかも知れませんね。

**意見** 私も地域で活動させていただき感じるのは、今日の 3 ページにはこれからも積極的に関わっていきたいと書かれています。朝陽地区では、部会のなかにはそれぞれ一名ずつ担当に入っていていただいて非常にありがたいことです。またもう少し企画の段階から携わっていただきたいと思う。特に支所にいる若い職員方が住民と一緒にやっているという姿勢は、職員の育成にも非常に意義があることだと思いますので、是非積極的に支援していただきたいと思います。

**意見** 住民自治協議会から誘ってみるのもいいのではないのでしょうか。お望みの体制ができてくるのではないかと思います。

**意見** 今日たまたま同時刻に観光振興課が主催だと思いますが、トイゴにおいてまちづくりの講演会があり、実はそちらへ行きたかったのだが、こちらを優先しました。イベント等は課同士で前もって分かっていることなので、日程調整してほしい。重ならないように日程を設定していただきたいと思います。